住まい選びのポイント

高齢者向けの住宅や施設っていろいろ聞くけど、どう違うの？ここでは、介護の必要度からみた住まい選びのポイントについて紹介します。住まい選びの参考にご利用下さい。

介護が必要になっても自宅で暮らし続けたい

→ 自宅をバリアフリー化し、ホームヘルプ、デイサービスなどの居宅サービスや住み慣れた地域で暮らし続けるための地域密着型サービス等を利用して生活します。

高齢者向けの住まいに住み替えたい

- **元気で自立した方**
  - → **サービス付高齢者向け住宅**
    住宅としての居室の広さや設備、バリアフリーなどを備え、安否確認や生活相談などの支援を受けながら生活します。
  - → **住宅型有料老人ホーム**
    食事や見守り等のサービスがありますが、介護サービスの提供はありません。
- **生活援助が必要な方**
  - → **住宅型有料老人ホーム**
    食事や見守り等のサービスがありますが、介護サービスの提供はありません。
  - → **介護付有料老人ホーム**
    介護サービスが付いたホームです。介護が必要になった場合、施設が提供する介護サービスを利用しながら生活することができます。
  - → **軽費老人ホーム（ケアハウス、A型）**
    自宅で生活することが困難な方が、低額で介護サービスを利用しながら生活することができます。
- **介護が必要な方**
  - → **介護付有料老人ホーム（上記参照）**
  - **認知症の症状がある**
    - → **認知症高齢者グループホーム**
      認知症のため介護を必要とする方が、少人数で共同生活をする住居で、食事、入浴、排泄等の介護や機能訓練が行われます。
    - → **介護老人保健施設**
      医学的な管理のもとで、看護、機能訓練、日常生活上の世話を受けながら在宅復帰を目指す施設です。
  - **介護の重度に対応**
    - → **特別養護老人ホーム**
      常に介護が必要で在宅生活の困難な方が日常生活上の世話、機能訓練、看護などのサービスを受けながら生活する施設です。
  - **常時医学的管理が必要**
    - → **介護療養型医療施設**
      長期にわたる療養を必要とする方が、必要な医療のほか、介護等の世話及び機能訓練などのサービスを受ける施設（病院）です。